Claris FileMaker Server for Linux 入門



Olaris Engage Japan 2021

2021/11/11 Claris Engage Japan 2021 松尾篤(株式会社エミック)





- 松尾篤
 - ・株式会社エミック(東京都杉並区)代表取締役社長
 - ・Claris FileMaker 認定デベロッパ
 - ・kintone認定 アプリデザインスペシャリスト(2020年2月)
 - ・kintone認定 カスタマイズスペシャリスト(2020年3月)











株式会社エミック

- ・Claris FileMaker 対応ホスティングサービスを1998年から提供
 - 開始
- ・定額制オンライン対面開発サービス
- ・kintone 導入支援・カスタマイズ開発

https://www.emic.co.jp/





・Claris FileMaker Server for Linux に対応したサービスを国内でいち早く



今回の話題

- ・ Claris FileMaker Cloud と Claris FileMaker Server の違い
- Claris FileMaker Server for Linux
- ・Linux サーバーを運用する上で知っておきたい基本







Claris FileMaker Cloud と Claris FileMaker Server の違い



Olaris Engage Japan 2021



2種類のサーバー製品

- Claris FileMaker Cloud
 - ・Claris 純正クラウドサービス
- Claris FileMaker Server
 - ・オンプレミス(自社サーバー)向けサーバー製品





Claris FileMaker Cloud

- ・サーバーの購入や管理の手間は不要
- ・24時間サポート
 - ·日本語対応:平日 10:00~17:30
 - ・時間外は海外サポート窓口での英語対応







Claris FileMaker Cloud

- AWS (Amazon Web Services)のクラウドを利用
- オペレーティングシステムには Linux (Ubuntu) を採用
- ライセンス費用にはサーバー費用相当も含まれる
- ・用意されているプランは2つ







2種類のプラン

	Essentials プラン	Standard プラン
年間費用	税込 25,740円 / 1ユーザ	税込 52,800円 / 1ユーザ
ユーザ数	$5 \sim 10$	$5 \sim 2000$
共有 App 数の上限	3	125
ストレージ	2GB × ユーザ数で固定	6GB × ユーザ数 (アップグレード購入可能)
コンピュート(サーバーのスペック)	固定	ユーザ数に応じて変動 (アップグレード購入可能)
契約期間	年間	年間



Olaris Engage Japan 2021



Claris ID

- FileMaker Cloud の利用に必須
 - ユーザごとに固有のライセンスが必要
 - ユーザごとに固有の Claris ID アカウントが必要





・個別のメールアドレスが必要(Claris ID アカウントの共有は不可)



サーバー製品の比較

	Claris FileMaker Cloud	Claris FileMaker Server
ライセンス	ユーザライセンス (年間)	ユーザ/同時接続/サイトライセンス (年間・永続)
ハードウェア	不要	別途必要
SSLサーバー証明書	組み込み	別途必要
認証	Claris ID、外部IdP認証	ファイル認証(内部認証)、外部認証
プラグイン	非サポート	サポート



🔇 Claris Engage Japan 2021



Claris FileMaker Server for Linux



Olaris Engage Japan 2021



Claris FileMaker Server

- ・オンプレミス(自社サーバー)向けサーバー製品
- ・Windows Server、macOS、Linux (Ubuntu) に対応
- 各種クラウドやサードパーティのホスティングサービスで利用可能
- 柔軟なバックアップ設定や個別のセキュリティ設定が可能





Claris FileMaker Server for Linux

- 2020年10月に提供が開始された FileMaker Server 19.1.2 と同時に FileMaker Server for Linux が正式にリリース
 - バージョン5.5以来の復活







Claris FileMaker Server for Linux

- ・バージョン19.1.2およびバージョン19.2.1: CentOS Linux 7に対応
- バージョン19.3.1以降: Ubuntu 18.04 LTSに対応
 - ・今後の更新は Ubuntu 向けのみ







Linux

- ・Unix 系オペレーティングシステム
- ・クラウドでは業界標準
 - ユーザー数が多い
 - ・情報やツールが豊富









Linux カーネル

- 自由に使用、複製、改変および再配布できるライセンス
 - GNU GPL (GNU General Public License) バージョン2
- ●多種多様な Linux ディストリビューションが存在
 - CentOS Linux, Ubuntu, Red Hat Enterprise Linux, Debian etc.







Linux を 採用する 理由

- ・サーバー分野では業界標準と言えるほど広く普及している
- ・ライセンスコストを低減できる
- 安定性および安全性を高くしやすい
- ・
 自動化が容易である









各種ソフトウェアとの組み合わせも容易

- ・弊社サービス(FMプラン)の場合
 - FileMaker Server for Linux
 - SoftEther VPN
 - WordPress
 - Nextcloud Files etc.







https://www.emic.co.jp/fmplan/



FileMaker Server でサポートされる OS

- ・Linux の場合
 - Ubuntu Server 18.04 LTS
 - Ubuntu 18.04 LTS Desktop
 - ・Ubuntu Desktop は FileMake 完全には検証されていません
 - LTS = Long Term Support



・Ubuntu Desktop は FileMaker Server 19.3 と互換性がありますが、



運用時には Ubuntu Server の利用を推奨

サーバー版にはデスクトップがない

- 不要なサービスが起動しない
 - ・安全性を向上

・メンテナンスコストを低減







入門用としてデスクトップ版を使って解説

- ・デスクトップ版であれば Web ブラウザーを使える
 - ・FileMaker Server Admin Console にアクセスしやすい
 - ・サーバー版を実際に使って運用する場合は SSH に関する知識や事前に SSL サーバー証明書の発行が必要



Olaris Engage Japan 2021



FileMaker Server のインストール

- ・ Ubuntu のバージョンを確認
- ・FileMaker Server インストーラの URL を確認
- FileMaker Server をインストール
- FileMaker Server Admin Console にサインイン
- ライセンス証明書をインポート





Ubuntu のバージョンを確認

を入力

\$ cat /etc/os-release

- ・実際に入力するコマンドは「cat /etc/os-release」
- 「\$」は(コマンドの入力を促す)プロンプト





・Ubuntu 18.04 LTS Desktop をインストールした環境において次のコマンド



インストーラのURLを確認

オンラインソフトウェアダウンロードページを開く

・FileMaker Server インストーラ(Ubuntu Linux用)のURLを確認









FileMaker Server をインストール(1)

・Ubuntu をアップデートおよびセキュリティアップデートを適用

\$ sudo apt update

\$ sudo apt upgrade







FileMaker Server をインストール (2)

・wgetコマンドとunzipコマンドをインストール

\$ sudo apt install wget

\$ sudo apt install unzip







FileMaker Server をインストール(3)

・FileMaker Server インストーラをダウンロード

\$ wget https://example.com/fms_19.x.x.xx.zip

・圧縮ファイルを展開

\$ unzip fms_19.x.x.xxip







FileMaker Server をインストール (4)

・FileMaker Server をインストール

\$ sudo apt install ./filemaker-server_19.x.x.xx.deb







FileMaker Server をインストール (5)

- FileMaker Server ライセンス契約に同意
 - ・「y」を入力
- ・インストールタイプを選択
 - 「O」を入力









FileMaker Server をインストール(6)

- FileMaker Server Admin Console のユーザ名を入力
- FileMaker Server Admin Console のパスワードを入力
- ・パスワードのリセットが必要な場合に使用する 4 桁の PIN を入力







FileMaker Server をインストール (7)

- インストール完了後に FileMaker S
 が実行中であることを確認
 - \$ ps -A | grep fm \$ ps -A | grep apache



🔇 Claris Engage Japan 2021

・インストール完了後に FileMaker Server プロセスと Apache Web サーバー



Admin Console にサインイン(1)

- ・Firefox を起動して http://localhost:16001/ にアクセス
- をクリック





・Admin Console のユーザ名およびパスワードを入力した後に [サインイン]



Admin Console にサインイン(2)

- 入れる]をクリック
 - ・ Claris デフォルト証明書はテスト用



・ [Claris デフォルト証明書を使用] をクリックしてから [保存] をクリック ・Claris デフォルト証明書についての注意書きを理解してから [リスクを受け

・実際の運用時には証明機関から発行された SSL サーバー証明書が必要



ライセンス証明書をインポート

• [管理] タブをクリック

- 「ライセンス証明書のインポート」をクリック
 - ライセンス証明書のファイル名:LicenseCert.fmcert









Ubuntu の標準サポート終了予定月

	標準サポート終了予定月	有償サポート終了予定月
Ubuntu 16.04 LTS	2021年4月	2026年4月
Ubuntu 18.04 LTS	<u>2023年4月</u>	2028年4月
Ubuntu 20.04 LTS	2025年4月	2030年4月



Olaris Engage Japan 2021



Linux サーバーを運用する上で知っておきたい基本



Olaris Engage Japan 2021



運用時には Ubuntu Server の利用を推奨

サーバー版にはデスクトップがない

- 不要なサービスが起動しない
 - ・安全性を向上

・メンテナンスコストを低減







コマンドラインインターフェース (CLI)

- コマンドプロンプトもしくは PowerShell (Windows)
- ・ターミナルアプリケーション (macOS)







ファイルの中身を確認

- ・ cat コマンド
- 使用例

\$ cat /etc/os-release









パッケージ管理

- apt コマンド(Ubuntu の場合)
- 使用例
 - \$ sudo apt update
 - \$ sudo apt upgrade
 - \$ sudo apt install zip







ディレクトリの移動や確認

- ・ pwd コマンド
- 使用例

\$ pwd









ディレクトリの移動や確認

- ・cdコマンド
- 使用例

\$ cd /opt/FileMaker









ディレクトリの移動や確認

- ・Isコマンド
- 使用例

\$ Is -al









IP アドレスの確認

- ・ ip コマンド
- 使用例

\$ ip a







ホスト名の確認

- ・ uname コマンド
- 使用例

\$ uname -n







プロセスの確認

- ・ ps コマンド
- 使用例

\$ ps ax







SSH

- ・ssh コマンド
- 使用例

\$ ssh filemaker-server.example.jp







ログアウト

- ・ exit コマンド
- 使用例

\$ exit







OpenSSL

- ・ openssl コマンド
 - ・SSL サーバー証明書の発行に必要な CSR ファイルを作成
- ・ 使用例(楕円曲線暗号の証明書を利用する場合)

 - \$ openssl req -new -key TEST.key -out TEST.csr -sha256



\$ openssl ecparam -out TEST.key -name prime256v1 -genkey





FileMaker Server の管理

- ・fmsadmin コマンド
- 使用例

\$ fmsadmin close FMServer_Sample

\$ fmsadmin restart adminserver -y









Ubuntu Server 利用時のインストール手順

- ・FileMaker Server のインストール前に SSL サーバー証明書を事前に取得
 - ・openssl コマンドで CSR ファイルを作成
- ・DNS 設定完了後に ssh コマンドで Ubuntu Server にログイン
- ・サーバー上で FileMaker Server をインストール
- ・fmsadmin コマンドで SSL サーバー証明書をインポート







https://www.youtube.com/watch?v=fzcucpKae0Q



Claris FileMaker Server 管理者が知っておきたい Infrastructure as Code

松尾篤

セッション ID: O-G-15



🐼 Claris Engage Japan 2021





参考) fmcsadmin

https://www.emic.co.jp/products/fmcsadmin/

- エミックで開発したコマンドラインツール

 - Linux、macOS および Windows で使用可能(無料)





・リモート管理機能を備えたサーバー管理者向けコマンドラインツール







Claris Marketplace



世界中の Claris のエキスパートが開発した製品をご覧ください。



FileMaker 19 スーパ ーリファレンス

Windows & macOS & iOS対 応(基本からしっかり学べる) - ソーテック社









DayBack カレンダ

_

自分好みにカスタマイズでき るカレンダー



fmcsadmin

Linux、macOSおよび Windowsで利用できる、リ モート管理機能を備えたサー バー管理者向けコマンドライ ンツール

